



代議員発言



博多 森永代議員

・年末手当について JR九州の通期の決算状況で行くなら大幅な赤字となる。若手から年末手当に対する不安の声が出ていく。手当は生活給として本部は内部留保の取り崩しなど粘り強く交渉して欲しい。

・ダイヤ改正について 来年もダイヤの減便を計画しさらなる効率化・ワンマン化を行うのではないか。今、運転士に発行者を持たせて無人駅に行かせているが、車掌などの多機能の危機感を持つべきだ。

・コロナ対策について 職場での対応が不十分である。危機管理能力が落ちているのではない。クラスターを避けるためにも対策を強化すべきだ。

・日勤教育について 教育期間以前よりが長くなっている。事故事例に関係ない、出区点検とか運転審査などが入っている。みせしめであり、改善するよう交渉を強化すべきだ。



北九 稲塚代議員

・台風十号に対する対応について 前泊者に対する対応について、特に女性が多い職場であるために区長に申し入れをした。小倉駅などは事前にホテルなど用意したと聞いているが、車掌区はホテルを用意しなかった。幸いに前泊者はいなかったため問題はなかったが、今後このような台風時における対応については申し入れをやっていきたい。

・年末手当について 減収は社員のせいではない。内部留保金を持っていくが、これは全社員がやめても大丈夫のように積み立てていたものと聞いている。生活がかかっている、今回これを活用させていくべきだ。

・ダイヤ改正について 車掌の清掃が多くなっている。門司港でも来年にむけ、どれくらいのごみがあるか調査をしているようだ。門司港はメンテがやっているが車掌にさせる気ではないか。これ以上の負担はできないかと反対していくことを願います。



佐賀 植松代議員

・職場での問題点 管理者の知識不足のせいで、通常であればもらえる、育児休業給付金ももらえない人が3人も発生した。国の機関であるので、あとから申請しても無理であった。管理者は本人の勉強不足・知識不足として責任をとらない。申請するには会社から証明書が必要だが、若い子はみんな知らない。管理者に対する教育が必要ではないか。

・七月の豪雨災害について 久大本線が不通になっている区間があり、災害後に臨時で列車の分併作業が休憩時間に入った。当然超勤申請をしたが、管理者は、他の人は自己判断で休憩をずらして取っている。本当に作業したのか。と言ってくる管理がいる。反論して超勤を認めさせてきたが、こんな所の教育が必要ではないか。

・原爆死没者慰霊式の御礼 今年については、コロナ禍であったが75年の節目であり規模

を縮小して開催した。少しさみしい式典となったが、今後も継続してやっていきたい。

・再雇用問題について 地区本部大会で不満の発言や意見が多く出された。賃金とか労働時間とか改善するよう交渉の強化を本部に要請する。

・台風被害について 長崎でも被害があり徐行区間が今でもある。工務の人員が足りないため、復旧作業が進んでいない。肥薩線は被害が甚大で日田彦山線のようになるのではと危惧する。また通勤の対応については運転士・車掌は特休・年休とした。交渉で長崎支社は本社の指導でやったと回答。他の職場では、特休の取り扱いはどうしたのか、今後も同じような事象となった場合、会社じどのような対応を求めるのか九州本部の見解を聞きたい。

・組織拡大について レクを取り組んできた。コロナ禍で運動が来ていないが若い力など活用して奮闘したい。



長崎 宇都宮代議員